

◆ 自転車乗用中の主な事故原因 ◆

交通事故は、ちょっとした気の緩みや油断から起こります。
自転車乗用中の主な事故原因について確認していきましょう！

①安全不確認(左右の確認不足など)

左右の安全確認及び目視を十分に行わずに交差点に進入すると、交通事故につながるおそれがあります。交差点へ進入する際は、左右の安全をしっかりと確認した上で進行してください。

②一時不停止

「止まれ」の標識や信号を無視して交差点を進行すると、車や歩行者と衝突する危険があります。標識や信号を必ず守って必ず一時停止し、安全を確認してから進行してください。

③ながら運転

携帯電話、イヤホン等を使用しながら自転車を運転すると、周囲の危険を発見することが遅れ、交通事故につながるおそれがあります。運転中は携帯電話、イヤホン等の使用を控え、前方や周囲の安全確認を徹底してください。

ヘルメットの着用も忘れずに！

夏休み中は自転車を利用する機会が増えるため、
交通ルールを守り、周囲の安全をよく確認して
事故のない楽しい夏を過ごしましょう！

令和8年9月1日から生活道路の
法定速度が60km/hから30km/h
に引き下げられるきゅぽ！

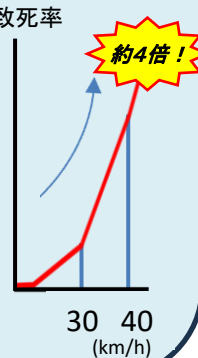
生活道路とは？

主に住宅街など地域住民の日常生活の移動に利用される、中央線や車両通行帯がない道のことです。(一般的に道幅5.5m未満の住宅街などを指します。)



なぜ30km/hなの？

歩行者や自転車と自動車が衝突した場合、車の速度が30km/hを超えると致死率が急激に高まるデータがあるためです。30km/hは被害を最小限に抑えるための基準とされています。



自転車や歩行者はどうすればいいの？

法定速度が引き下げられるからといって、交通事故の危険がなくなるわけではありません。今まで通り、道路を横断するときの安全確認や交通ルールを守ることが心掛け、事故に遭わないよう十分注意しましょう。

交通ルールは自動車だけ守っていても意味がないきゅぽ。
みんなもルールを守って交通事故0を目指そうきゅぽ！